

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 保 健 体 育

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：保健体育)

1 調査研究の経過・内容	<p><input type="checkbox"/> 6月27日(木) 第13・20採択地区教科用図書調査委員会及び第1回保健体育小委員会 ・小委員会員の確認・調査研究日程の確認並びに内容・役割分担の確定</p> <p><input type="checkbox"/> 6月28日(金)～7月16日(火) 各自、各教科書についての調査・研究</p> <p><input type="checkbox"/> 7月17日(水)～22日(月) ・メールのやりとりによる調査内容の交流 ・各教科書の内容・構成・使用上の配慮事項等に関わる意見交換</p> <p><input type="checkbox"/> 7月23日(火)～7月25日(木) ・意見交流を基に精査 ・意見集約と報告書作成・確認</p> <p>7月26日(金) ・教科用図書採択参考資料等を市教委教育支援課教育政策係へ提出</p> <p><input type="checkbox"/> 8月8日(火) 第2回鉏路市・鉏路町合同教科用図書調査委員会にて報告</p> <p>※協議内容は別紙(様式4)</p>
2 調査研究の具体的資料	<p>1 教科書編修趣意書</p> <p>2 採択参考資料</p> <p>3 学習指導要領解説</p>
3 少数意見等	<p>特になし</p>

観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	保体・002-72	新編 新しい保健体育
	<p>○ 保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～人間の健康や疾病の成り立ち、健康を保持増進し、疾病を予防するために必要な生活の仕方について、自分の生活を振り返って考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～生活習慣と関わりの深い疾病の予防や喫煙、飲酒、薬物乱用などと健康とのかかわりについて事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～感染症の発生要因、感染リスクの低減による予防対策、個人や社会の取組の重要性や保健・医療機関の有効な利用、医薬品の正しい使用について、自分ができることを考えたり話合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～健康の維持増進を図るための基礎として、年齢に伴う心身の機能の発達や、心の健康を保持増進する方法などについて、できることを考えたり大人に尋ねたり実習を通して試したり、事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「障害の防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第2学年～障害の発生要因、それらに対応した適切な対策による障害の防止、応急手当の意義や方法などについて、資料を基に予測したり、事例等を基に考えたり、作成したり、課題を見つけ、その解決を目指したり、実習を通して身に付けたりする活動</p> <p>○ 保健分野の「健康と環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～体の環境への適応能力、人間の健康と密接な関りがある飲料水や空気の管理、環境を汚染しない廃棄物の処理などについて、資料を基に調べたり実際に確かめたり考えたり話合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～運動やスポーツの多様性として、さまざまな必要性和楽しさ「する、見る、支える、知る」という関わり方、障害に渡る豊かなスポーツライフを実現するための多様な楽しみ方について、調べたり、身近な人に伝えたり、考えたり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～運動やスポーツを行うことによって、心身の発達や社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツの技術や戦術を学ぶための合理的な学習方法があること、また運動やスポーツを行う際は、安全に留意する必要があることなどについて、考えたり、調べたり、作ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきていること、国際的なスポーツ大会などが果たす役割が重要になってきていること、文化としてのスポーツが人々を結び付ける重要な役割を担っていることなどを調べたり話合ったり、表現したり、課題を見つけその解決を目指した活動</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・見開き1単位時間になっていることから、学習内容が一目でわかるようにしている。 ・教科書の使い方、各コンテンツ、学習方法を巻頭で説明し学び方を分かりやすくしている。 ・豊富な資料や口絵を掲載し、生徒の興味関心、疑問を引き出そうとしている。 ・「活用する」、「広げる」の活動を通して、習得した知識・技能を活用して考えを深めたり、学んだことを自分の生活と結び付けて考えたりと深い学びに導くことができるようにしている。 ・図や写真、QRコード（動画や資料）と学習に活用できる資料がたくさんある。資料の画像や説明も細かい。 ・体育分野においては、調べる、インタビューする、そこから自分が感じたことや考えたことを伝える、話し合う。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・目次の見開きで3年間の学習内容を見通すことができるような工夫がある。 ・1見開き1時間構成とし、「タイトル」「見つける」「学習課題・キーワード」「課題の解決」「広げる」のレイアウトに一体感を持たせることで、生徒が主体的に考えられる紙面構成の工夫がある。 ・保健分野については、小学校で学習した病気の予防や地域の保健活動について振り返る学習をした後に、感染症の発生要因や予防策、保健・医療機関の有効な利用や医薬品の正しい使用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がある。 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様な関わり方をした後に、現代社会におけるスポーツの文化的意義、スポーツが果たす文化的役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がある。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」の活動を行った後に「学習課題」を明示することで、「学習課題」を、より自分のこととして学習に取り組むことができるようにしたり、日常生活を振り返って考える・話し合う学習活動を位置付けたり、巻末資料が豊富なことから習得した知識・技能を活用したりする、など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ イラストや写真、図を使った資料が読みやすいだけでなく、動画やシミュレーション、思考ツールやワークシートなど紙面を補完するQRコンテンツを約150点用意し、授業の中で必要に応じて効果的に使用できるようにするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻末スキルブックがあり、健康や安全に関するスキルが身につく資料が掲載され、保健体育の学習への意欲が高まる工夫がなされている。 ○ 挿絵や写真では男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮したり、配色およびデザインについては、専門家に校閲を依頼したりと、ユニバーサルデザインの観点から全ページの検証を行うなど、使用上の便宜が図られている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	4・大日本	第1学年 第2学年 第3学年	保体・702	中学校 保健体育
	<p>○ 保健分野の「健康な生活と病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～健康の成り立ちと病気の起こる要因、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活について、資料を基に話し合ったり、健康とは何かを理解し、自分の生活を振り返って考えたり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～生活習慣病などを予防するために事例等を基にこれからできることを考えたり、喫煙、飲酒、薬物乱用について資料を基にその害を調べたり話し合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～感染症の特徴や予防するための対策について資料を基に考えたり、健康を守るための社会の取組について自分ができることを考えたり話し合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「心身の発達と心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～自身や友だちの体や心がこれからどう変わっていくのか、資料を基に考えたり、欲求やストレスへの対処について話し合ったり実習したり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「障害の防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第2学年～けがの実態や原因を知り、交通事故や災害、犯罪から身を守るための方法や応急手当の基本について、事例等を基に考えたり話し合ったり、課題を見つけ、その解決を目指したり、実習を通して身に付けたりする活動</p> <p>○ 保健分野の「健康と環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～体の適応能力について資料を基に話し合ったり、環境が健康に及ぼす影響について資料を基に調べたり、健康と環境に関する課題について考えたり話し合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～運動やスポーツの必要性や楽しさ、関わり方、多様な楽しみ方について、資料を基に気付いたり話し合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～運動やスポーツが心や体や社会性の発達に及ぼす効果について資料を基に話し合ったり、効果的に上達するための学び方を調べたり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～スポーツの文化的意義を踏まえてスポーツの魅力について考えたり、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るために話し合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書の使い方」、「1時間の学習の流れ」を掲載し、学習のガイダンスを示した活動 ・各小単元の構成を統一し、課題解決学習の流れの中で主体的・対話的で深い学びを実現できるようにした活動 ・左ページが学習内容で、右ページが図や資料になっており、図を活用して課題について思考を広げたり深めたりまとめたりする活動 ・各小単元には導入の活動、本文や資料を活用して「やってみよう」「話し合ってみよう」などの学習、学びをより深める学習を取り入れた活動 			

	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の見開きで3年間の学習内容を見通すことができる。 ・章扉では、学習指導要領に示された小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、小学校や高等学校の関連する学習内容を示した工夫 ・教科内や他教科との系統性な学びのための学年、教科横断的な学習を充実させた工夫 ・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならぬよう、発達段階と学年に応じて精選した工夫 ・学年ごとに体育理論、保健と領域が区分されて大きく内容が明記されている。 ・資料についても、「口絵・資料」が一覧になっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<p>第1学年～第3学年</p> <p>○ 全体の学習を通して、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度が育成されるように配慮するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての章で、自らの課題を発見し、主体的に取り組む中で、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、深い学びが実現できるようにするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 右ページ図や資料を提示し、一目で理解できることが多く、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 重要な部分を強調するなどレイアウトを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、読みやすさに配慮している。また、学習をより理解したり、広げたりすることができるようデジタルコンテンツを用意するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 1単位時間の学習内容が見開きに納まっているなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	50・大修館	第1学年 第2学年 第3学年	保体・050-72	最新 中学保健体育
	<p>○ 保健分野の「健康な生活と病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～健康とは何かを理解し、どうすれば健康でいられるか、健康と生活のしかたについて自分の生活を振り返って考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～生活習慣の健康への影響について学び、喫煙・飲酒・薬物乱用を避けるための具体的な対処の仕方について事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～感染症の特徴を知り、予防するための対策があることを学ぶとともに、健康を守るための社会の取組について自分ができることを考えたり話合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「心身の発達と心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～自分や友だちの心と体がこれからどう変わっていくのか、心身の発達の道筋や心の健康について、事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「けがの防止と応急手当」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第2学年～けがの実態や原因を知り、交通事故や災害、犯罪から身を守るための方法や応急手当のしかたについて、事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指したり、実習を通して身に付けたりする活動</p> <p>○ 保健分野の「環境の健康への影響」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～環境が健康に及ぼす影響について資料を基に調べたり、健康と環境に関する課題について考えたり話合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～運動やスポーツには、たくさんの楽しさや関わり方があることについて資料を基に気付いたり、運動やスポーツの魅力について話し合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～運動やスポーツの体と心への効果について資料を基に考えたり、安全で合理的な学習方法について考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～自分たちの生活とスポーツの関係を話し合ったり、スポーツの国際大会の意義と役割について資料を基に考えたり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方が巻頭に説明され、学び方をルーティングする活動 ・3ステップのシンプルな学習過程で構成することで、見通しをもって主体的に学習を進められる活動 ・学習項目の冒頭の「課題をつかむ」で、多様な導入活動を提示し、これまでの学習を振り返ったり、これからの学習を見通したりする活動 ・学習項目の最後の「学習のまとめ」で、多様な表現活動を提示し、言語活動やグループなどで対話する場面を多く設けている活動 ・図や写真、QRコード(動画やワークシート・まとめのクイズ)と発展的な学習に結びつける活動 			

	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1～3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の見開きで3年間の学習内容を見通す工夫 ・全ての章とびらに、「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」を明示し、系統性のある指導ができるようにした工夫 ・他教科との関連を示す工夫 ・全ての学習項目は1見開き1単位時間の構成を徹底し、見通しをもって指導できる分量にした工夫 ・目次に、巻頭・巻末資料、特集資料、コラム・事例・体育の窓・保健の窓と資料の一覧をわかりやすく明示する工夫
<p>使用上の配慮等</p>	<p>第1～3学年</p> <p>○ 動画コンテンツやWeb保体情報館、保体クイズを導入するなど、デジタル教材を充実させ、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章とびらでは写真を多用して学びへの意欲付けを図るだけでなく、小・中・高の学習内容が示されているので、学びのつながりを確認することができ、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「知識、技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」をバランスよく育成できるよう、紙面を工夫するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「体育の窓」、「保健の窓」を各所に設けることで、体育分野と保健分野の関連を図った学習ができるように工夫している。</p> <p>○ 性の多様性を重視した題材を用いたり、視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用したり、多様性に配慮したイラストを用いたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 1単位時間の学習内容が見開きに納まっているなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	保体・224-72	新・中学保健体育
	<p>○ 保健分野の「健康な生活と病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～健康とはどんなことか、生活習慣と健康との関係について話し合ったり、アイデアを出し合ったり自分の生活を振り返って考えたり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～生活習慣病やがんの予防、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、生活を振り返りながら考えたり、意見を出し合ったり、対応の方法を交流したり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～感染症の予防や健康を守る社会の取組について、資料を基に調べたり、話合ったり、自分ができることを考えたり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「心身の発達と心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～思春期の心身の発達の道筋や心の健康について、調べてり、説明したり、事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>○ 保健分野の「障害の防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第2学年～交通事故や自然災害などによる障害の防止について調べたり、犯罪から身を守るための方法や応急手当のしかたについて、事例等を基に考えたり話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指したり、実習を通して身に付けたりする活動</p> <p>○ 保健分野の「健康と影響」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～健康と環境に関する原則や情報について、資料を基に調べたり、考えたり話合ったり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～スポーツやその関わり方、楽しみ方などが多様であることについて資料を基に調べ、考えたり、話し合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第2学年～スポーツをする意義やその効果、技術の合理的な身に付け方、安全な行い方について資料を基に考えたり、話合ったり、課題を見つけ、その解決を目指した活動</p> <p>第3学年～スポーツの文化的な意義や働き、スポーツの国際大会の意義と役割、人々を結び付けるスポーツの働きについて、資料を基に考えたり、課題を見つけその解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のはじめにウォームアップに取り組むことにより「何が課題か」をより考えるようにしている。 ・教科書の使い方を示し、自らどのように学習を進めていくか確かめることができ、これにより、学習の見通しが持てるようにしている。 ・学習課題が「わかる」「考える」に分けてある。 ・教え合い、学び合う学習活動には、「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動を意図的に配置している。 ・図や写真、QRコード（ワークシートと外部リンク）があり、外部リンクで厚生労働省や文部科学省につながる。 <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された内容を基に、学年別で構成している。 ・各章のとびらにおいて、小学校で学習したことと中学校で学習すること、さらに高校で学習することを見通すことができるようにし、小中高につなげやすくしている。 ・1単位時間見開き2ページを基本構成とし、全体像を眺めながら見通しを持って学習できるように配慮している。 ・資料は最新で、信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいようにしている。 ・目次には、巻頭・巻末資料、コラムもわかりやすく明示されている。 			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真、図を使った資料が読みやすいだけでなく、章デジ QR コードによる外部リンクやワークシートで、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ ICT 機器の効果的な活用を促進し、デジタルコンテンツを活用できるように「章デジ」を設けたり、「保健体育の学習の終わりに」をはじめ、共生社会の実現やウェルビーイングの実現に向けて考える内容を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 課題学習の整理の仕方の見本があり、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習内容や課題に応じて、自ら工夫しながら学習を進めることができるようにし、「さまざまな学習方法」を紹介するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、配色、表現、レイアウトについても、誰もが見やすく、分かりやすい内容にするなど、使用上の便宜が図られている。 ○ イラストについては、登場する人物の男女の比率や役割、背景などに偏りが無いよう工夫している。
<p>その</p>	<p>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

番号	協議題	協議・調査内容
1	今日的な課題への対応 ①性についての考え方	「大修館」は、特集資料として見開き 2 ページを使い、ジェンダーに関すること、LGBTQ に関すること、性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩み、性の多様性に関することなどを取り上げ、友だちから性について打ち明けられたらどのように対応するか、社会全体で取り組めることについてグループで話合う活動を設けている。「学研」は、発展探求として教科書 1/3 ページを使い、性についての心の多様性 (LGBT、SOGI) を取り上げている。「東京書籍」は、章末資料で発展として 1 ページを使い、性の多様性があり、互いにその人らしさを認め合うことの大切さについて述べている。「大日本図書」は取り扱っていない。
2	今日的な課題への対応 ②熱中症	「大修館書店」は、2 年体育理論の運動やスポーツの行い方、3 年保健の環境の変化への体の適応、気象情報の適切な利用、巻末体育の窓にて熱中症の危険、予防と応急手当について扱っている。扱いページは 14。「学研」は、2 年障害の防止で熱中症を疑ったときの対応、3 年保健の環境の変化と適応能力で熱中症にかからないようにするためにはどうすればよいかについて扱っている。扱いページは 13。「東京書籍」は、2 年保健の環境への適応能力、発展として見開き 2 ページで熱中症の予防と手当について扱っている。また巻末のスキルにて、熱中症の応急手当を扱っている。扱いページは 12。「大日本図書」は 2 年体育理論の安全な運動やスポーツの行い方、2 年の障害の防止で章末資料に熱中症の予防と応急手当、3 年保健の環境への適応能力で熱中症の予防について扱っている。扱いページは 9。
3	今日的な課題への対応 ③自然災害に備えて	「大修館書店」は、2 年保健で見開き 1 ページで自然災害から命を守るための方法について、資料を基に調べたり日頃の意識について考えたり、特集資料として 4 ページで気象災害、地震災害から命を守る行動について扱っている。「学研」は、2 年保健で見開き 1 ページで自然災害に備えて、何を備えるのよう行動すればよいか考えたり話し合ったり、もっと広げるために地震・火山噴火を取り上げている。「東京書籍」は、2 年保健で見開き 4 ページで自然災害による危険の生じ方、自然災害から身を守るための備えについて、資料を基に考えたり、自分の防災タイムラインを作るなどしている。また、巻末資料で見開き 2 ページでさまざまな自然災害の危険を取り上げるとともに、1 ページで防災タイムラインの例を挙げている。「大日本図書」は 2 年保健で見開き 2 ページで自然災害に対してどのような備えが必要か、発生したときにどのように行動すればよいか、資料を基に考えさせたり、資料として 4 ペ次にわたって全国各地で発生した自然災害の状況と日頃からの備え、地震が起きた時の行動について扱っている。
4	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数について	「大修館書店」は 11 か所で主に日常的な学校生活を中心に取り上げている。スポーツの多様性で室蘭のマラソン、学校生活と健康で日常の学校生活の風景、心身の発達と健康で健康診断風景、自然災害で胆振東部地震、国際的なスポーツ大会で札幌冬季オリンピック、健康な生活と病気の予防でコロナ禍の授業風景、環境問題で PM2.5 の新聞記事を掲載している。「学研」は 6 か所で、ICT を使った場面を取り上げているのが特徴である。札幌オリンピックミュージアム、授業を支える ICT の活用で体育の授業風景、スポーツ施設の検索・予約サイト、日本とオリンピック・パラリンピックの関係、環境問題で知床を取り上げている。「東京書籍」は 11 か所で、SDG's、北海道マラソン、こども 110 番、地震の被害、ごみの種類と量、流氷と幅広い分野で取り上げている。とりわけスポーツへの多様な関わり方という点で、北海道マラソンを例に「する」「見る」「支える」「知る」という視点で大きく掲載している。「大日本図書」は 7 か所、オリンピック・パラリンピックと自然災害のところで取り上げている。特に世界で活躍する陸上競技選手の重本沙絵さんについて、写真とともに健康に過ごすために気を付けていること、中学生に向けたメッセージを掲載している。
5	カリキュラム・マネジメントに資するように他教科との関連を意識した編集について	3 者がカリキュラム・マネジメントに資するように他教科との関連を意識した編集がなされている。 「大修館書店」は「他教科」で教科、学年、単元を表示。「東京書籍」は「他教科リンク」で教科、学年、単元を表示。「大日本図書」は「リンクマーク」で他教科、単元、教科名を表示。

※行が足りない場合は増やしてください。

※ 1 つの教科・領域で 2 ～ 5 の協議題、協議・調査内容を記載してください。